

AYA世代の大腸癌の臨床的特徴および治療内容に関する検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、AYA世代（15～39歳）に大腸がんを発症した患者さんについて、診断時の自覚症状やがんの特徴、当院で行った治療の内容を調べています。本研究では、AYA世代の大腸がんの診療における現在の問題点を明らかにすることを目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2011年1月から、2021年12月までの間に、病理学的に大腸がんであると診断された方。

◆研究に使用される情報◆

1. 大腸がん診断時の患者さんの情報：性別、大腸癌診断時の年齢、既往歴、家族歴、定期健診の受診の有無
2. 大腸がんの特徴：がんの部位、病期（ステージ）、自覚症状の有無と内容、症状出現から診断までの期間、診断の方法、血液検査所見（CEA、CA19-9）、画像所見（腹部超音波、CT、MRI、大腸内視鏡検査）、病理学的所見、遺伝子検査の実施の有無と遺伝性腫瘍症候群の診断の有無（具体的な遺伝子変異の有無や内容は研究対象としません）
3. 大腸がんに対する治療内容：内視鏡治療、外科手術、放射線治療、化学療法（抗がん剤治療）、その他の抗がん治療、専門チームによる緩和ケア、専門職員によるがん看護、妊孕性温存の有無と内容
4. 研究対象者・家族への説明内容（電子カルテに記録された内容）：遺伝子検査および妊孕性温存についての説明の有無
5. 長期経過：最終転帰（生存中または死亡）、最終診察日（死亡例では死亡日）、死因、二次がん（大腸がん診断後に新規に診断された別のがん）の有無と内容、不妊や性機能低下の訴えの有無、その他研究対象者の訴えとして電子カルテに記録された心理的・身体的問題点の有無と内容

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は

利用しません。

- * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

外科 研究責任者 上野 彩子

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明